

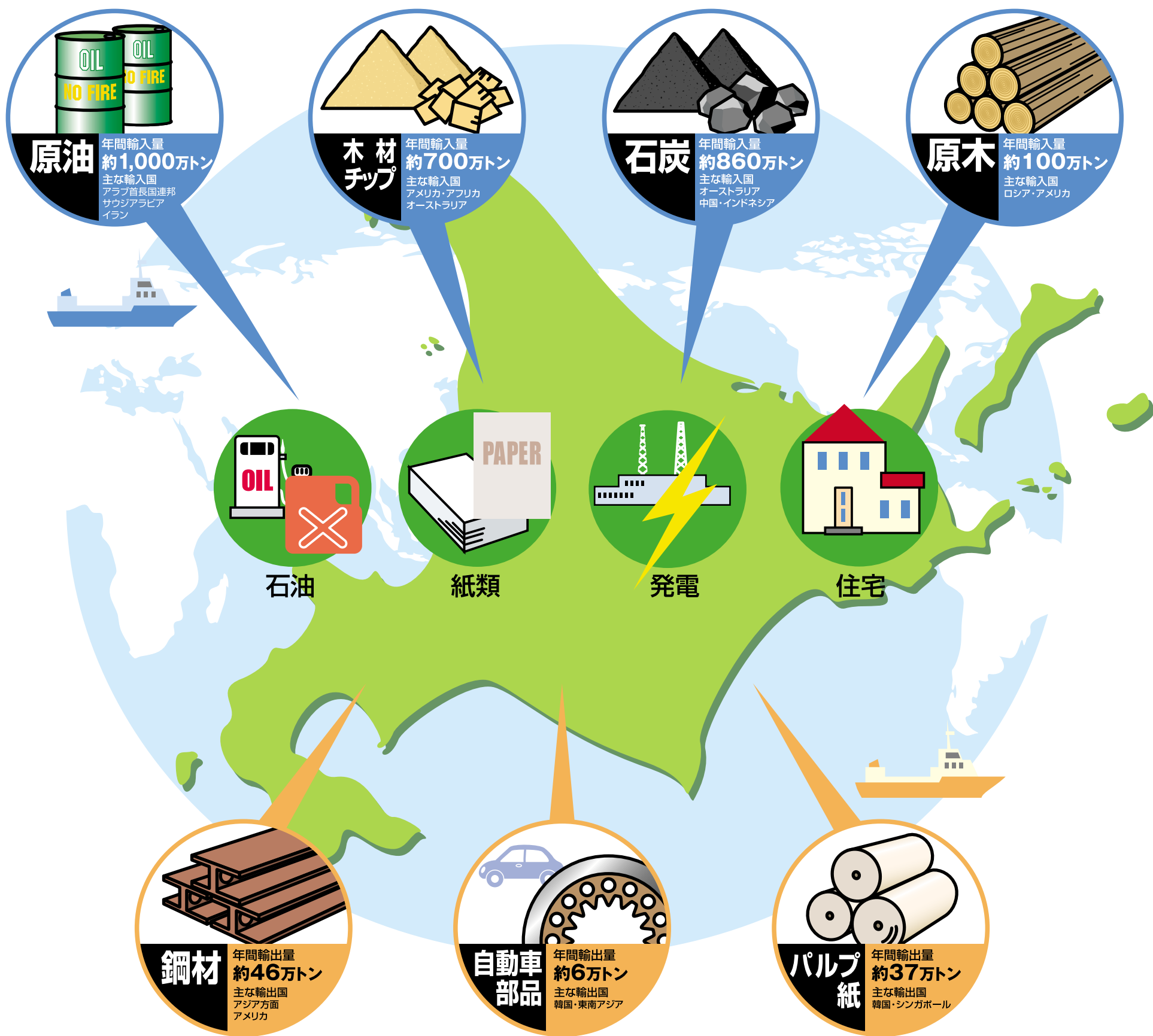
# 北海道の貿易をささえる“みなと”

北海道と海外との貿易には、99.99%みなとが使われています。  
北海道では、このような物が輸出入されています。

## 輸入品 年間輸入量 約3,790万トン

輸入品の中で一番多いのが原油で、二番目が木材チップとなっています。  
他にも、畑に使う肥料、トウモロコシや小麦などの穀物、肉類なども輸入されています。

(平成15年港湾統計より)



## 輸出品 年間輸出量 約280万トン

輸出品では鋼材が一番多く、次に紙・パルプとなっています。  
他に、電化製品や金属製品、自動車なども輸出されています。

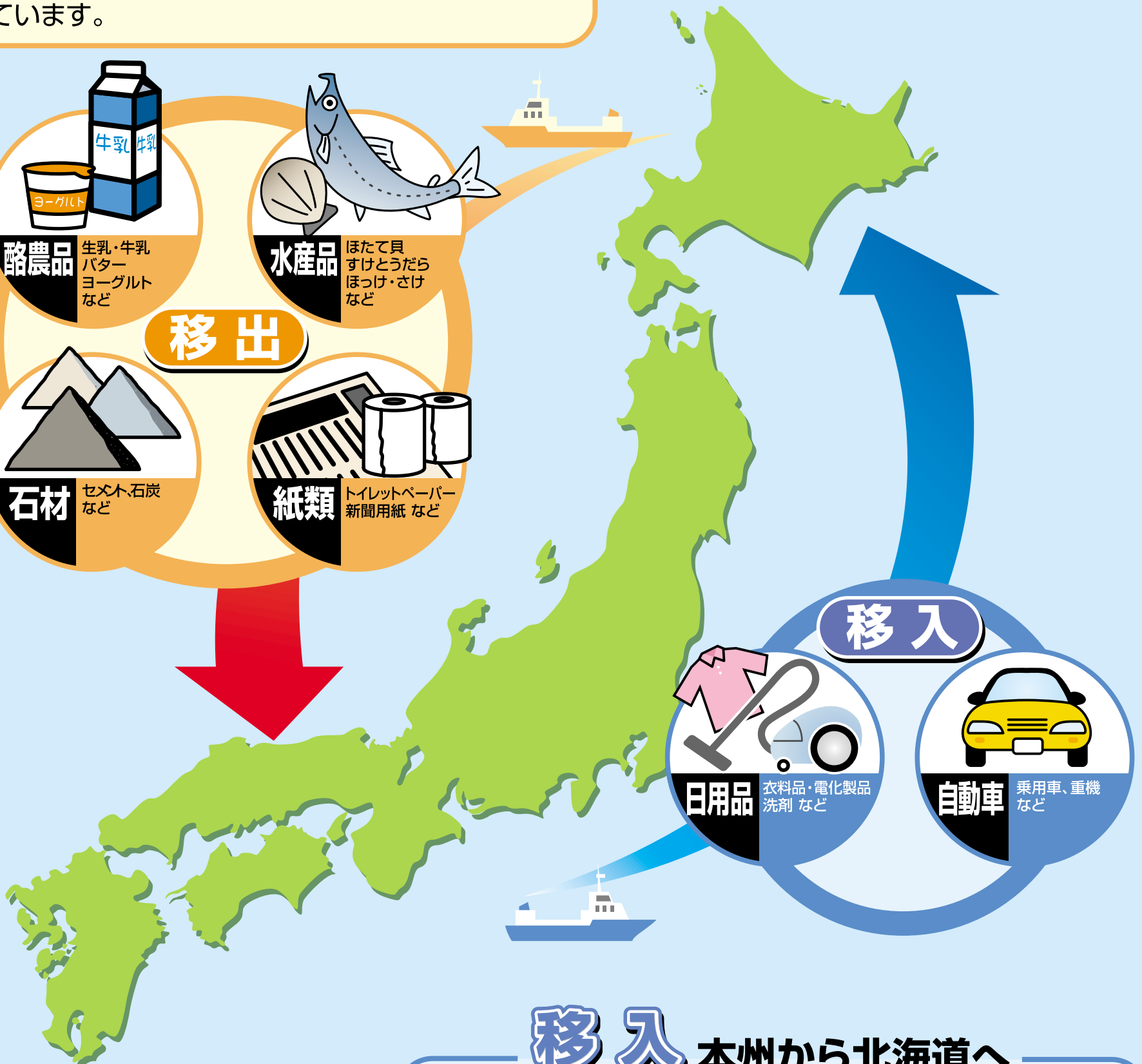
(平成15年港湾統計より)

# 北海道と本州をむすぶ“みなど”

北海道と本州との間で運ばれる物は、92.3%が船で運ばれています。

## 移出 北海道から本州へ

北海道から国内各地へ貨物を送り出すことを移出といいます。北海道の水産品や酪農品、紙類などが全国へ運ばれています。



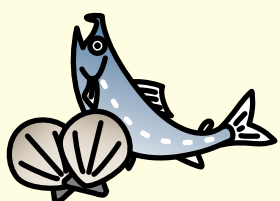
## 移入



## 移入 本州から北海道へ

日本国内の他の地域から北海道に貨物が運び込まれることを移入といいます。本州から北海道へ入ってくる貨物には、くらしに必要な日用品や自動車が入ってきています。

### 北海道から道外へ貨物を運ぶ場合



水産品は約100%が船で道外へ運び出されています。



酪農品の生乳は約95%が船で道外へ運び出されています。

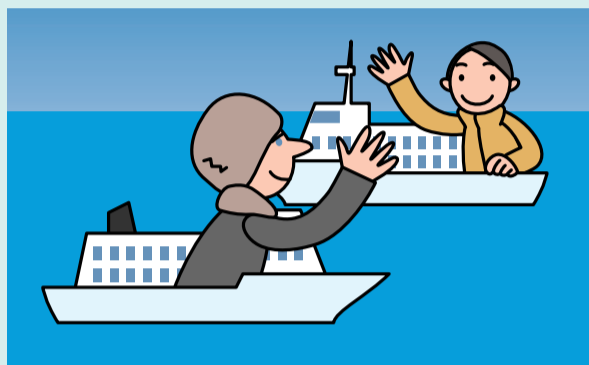


# 世界とつながる北の扉

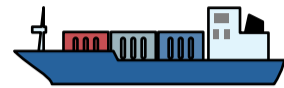
北海道の港湾には近隣国のみならず、世界中から船が寄港します。港は国際交流において、重要な役割を担っています。

## ロシア・サハリン交流

北海道はロシアとの交流が活発です。1995年からは北海道とサハリンを結ぶフェリーが行き来するようになりました。

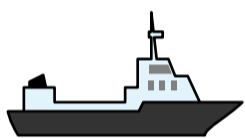


北海道各地でロシア語の看板を見かけるようになった。



## 北方領土との交流

1992年から北方領土とのピザ無し交流も行われています。



近隣国だけでなく、世界のいろいろな国の船が北海道にやってくる。

## 北米とアジアの橋渡し

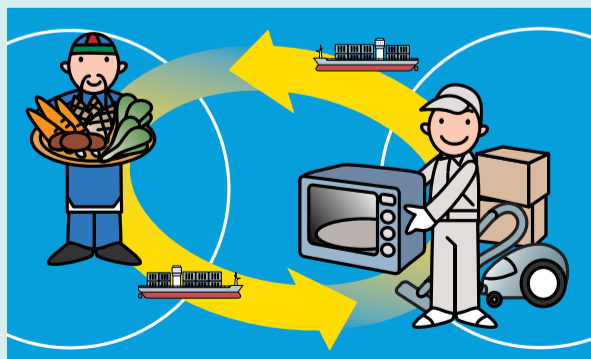
北海道は、日本で一番北米に近いので、アジアと北米を結ぶ橋渡しの役割を果たします。



中国へ行く途中、北海道に立ち寄るなど、橋渡し役をしている。

## アジアとの物流

アジア向けのコンテナ貨物の多くは苦小牧港などから出入りしています。食品・電化製品・日用品などの物流が活発になっています。



「より多くの貨物を」「さらに早く運ぶ」ことを日々目指している。

### 港湾豆知識

#### 北海道の港湾に出入りする貨物量の多い国 ベスト5

1位	オーストラリア	石炭(輸入) 約53%
約720万トン(輸入99% 輸出1%)		
2位	アラブ首長国連合	原油(輸入) 約99%
約670万トン(輸入99% 輸出1%)		
3位	アメリカ	とうもろこし 約36%(輸入)
約400万トン(輸入98% 輸出2%)		
4位	中国	石炭(輸入) 約67%
約360万トン(輸入87% 輸出13%)		
5位	韓国	石油製品 約20%(輸入)
約320万トン(輸入63% 輸出47%)		

(平成16年 北海道港湾統計年報)